

このリストは、サクラインターナショナル株式会社の社員として、  
「現場の事前準備 ~ 納品 ~ 撤去」「就業中」に、安全のために順守すべき物である。

最初に 自分の立場を 考える	<b>自分＝【当事者】</b> 自分が作業員として参加する場合	自分自身がリストの内容を順守する。
	<b>自分＝【発注者】</b> 自分が作業員として参加せず、 協力会社へ発注し作業をして頂く場合	協力会社の現場作業員にリストを順守させる。
	<b>ルールの優先度</b> 施主ルール・会場ルール > 本リスト	「施主ルール」「会場ルール」が最優先。 上記を順守しながら、本リストも順守する。

## 【1】事前準備・他

- |   |          |
|---|----------|
| ① 作業前には危険予知活動(KYミーティング)を実施              | 【別紙① 参照】 |
| ② 事故発生時の緊急通報フローの事前確認を実施                 | 【別紙② 参照】 |
| ③ 「各道具」・「工具」は現場の作業前に点検し、安全に使用出来る事を確認    |          |
| ④ 長時間作業時は適切な休憩を実施(目安 約3時間毎)／夏場は熱中症対策を実施 |          |
| ⑤ 「人身」・「物損」を問わず、些細な事故でも上長・現場責任者へ報告      |          |

## 【2】現場作業

- |   |                                |
|---|--------------------------------|
| ⑥ 設営・撤去作業中は、必ず保護具(ヘルメット・安全靴・等)を着用                                   | ※ 対象者は全員 ※                     |
| ⑦ 会場内への車両侵入は必ず誘導員を配備  |                                |
| ⑧ テールゲートリフター及び台車作業は社内ルールを厳守   | 【別紙③・④ 参照】                     |
| ⑨ 脚立作業は社内ルールを厳守   | 【別紙⑤ 参照】                       |
| ⑩ 「フォークリフトの運転」・「高所作業車の操作」等は、オペレーターのみで作業は行わず、必ず誘導員を配置し<br>周囲の安全確保を実施 | ※ オペレーターは有資格者のみ。(資格証の確認・要携帯) ※ |
| ⑪ 「イントレ(移動式足場)」・「高所作業車」等の高所作業場では安全帯使用(胴ベルト・フルハーネス)を厳守               |                                |
| ⑫ 壁面倒壊防止の為、壁面施工は社内ルールを厳守  | 【別紙⑥ 参照】                       |
| ⑬ パネル落下防止の為、パネル施工の社内ルールを厳守  | 【別紙⑦ 参照】                       |
| ⑭ 上部と下部での同時作業を禁止  |                                |
| ⑮ 「長物」・「重量物」の運搬は2名以上で周囲に注意しつつ安全に運搬を実施                               |                                |
| ⑯ 通電中の電気工事はメインブレーカーを切って作業を実施  |                                |
| ⑰ 作業場の「整理整頓」を定期的実施  |                                |

## 【3】就業中

- |                        |          |
|------------------------|----------|
| ⑱ 社用車の管理・運用は各拠点のルールを厳守 |          |
| ⑲ カッター使用時は社内ルールを厳守     | 【別紙⑧ 参照】 |



## ■ 協力会社 事故報告フロー作成 ルール ■

### 【1】フロー作成

- ① 協力会社で事故報告のフローを事前に作成する
  - ・フォーマット（自由）
  - ・「発注者」「自社現場管理者」「作業員」「下請け」を明確にする。
  - ・救急車を呼ぶ判断基準は国の基準を参考にする。

例：消防庁サイト [https://www.fdma.go.jp/publication/portal/items/portal002\\_japanese.pdf](https://www.fdma.go.jp/publication/portal/items/portal002_japanese.pdf)

- ② 事故報告フローをサクラインターナショナルへ事前に提出する。

**安全は事前の対策が重要**

### 【2】現場作業者への周知

- ① 現場開始までに「管理者」は「現場作業者」へ必ず周知する。
- ② 「現場作業者」はフローを理解し、勝手な判断で行動しない様に安全意識を共有する。

**作業者全員で安全意識を共有**

### 【3】事故処理

- ① 事故が発生した場合、サクラインターナショナルの指示に従い、必要な書類（事故報告／顛末書／等）を提出する。

**事故の原因を明確にし安全対策に繋げる**

### 【参考】

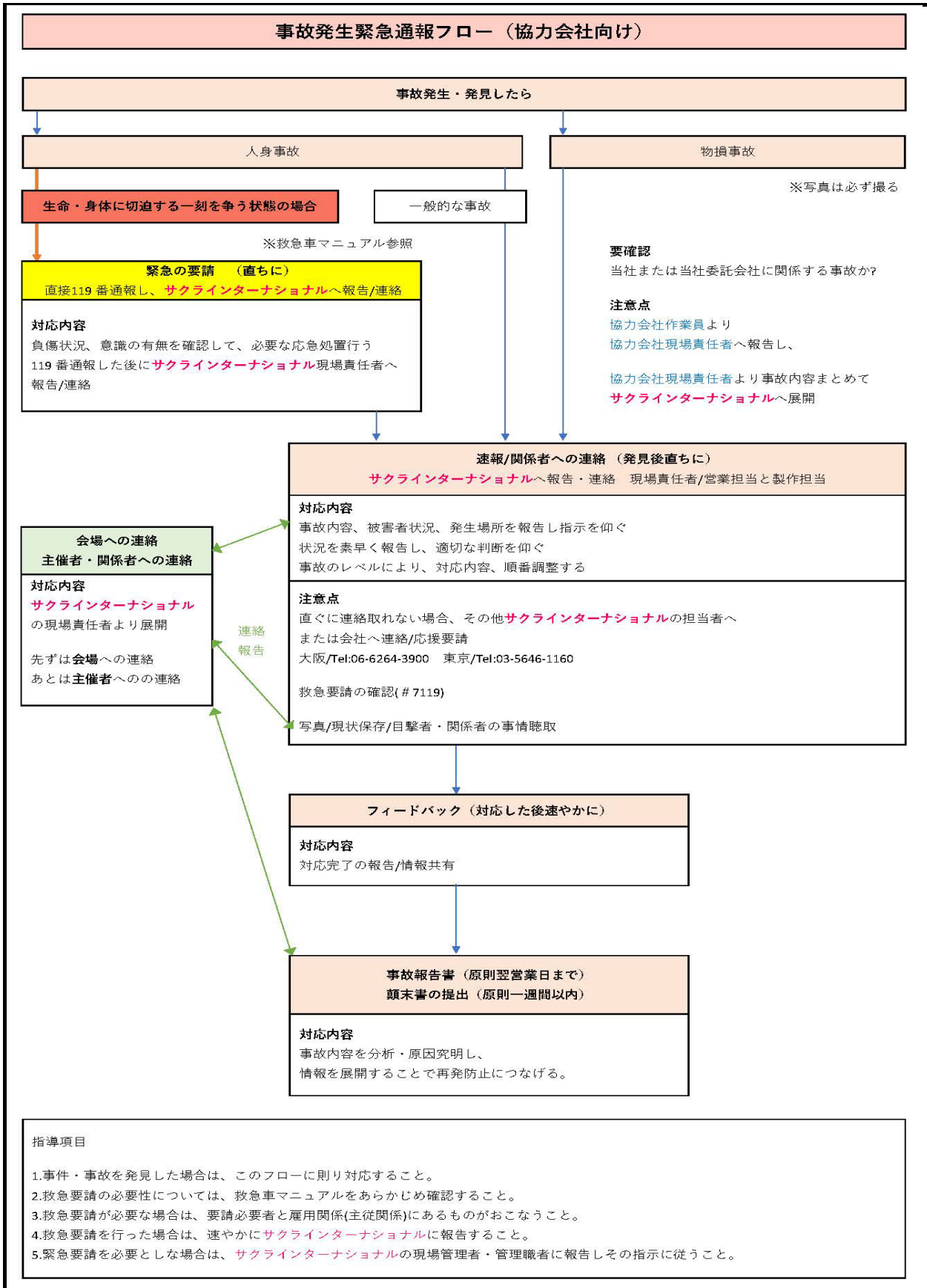
- ① 事故報告フロー案（別紙）がありますので、参考にしてください。

**誰もが理解できる事故報告フローが重要**



**ルールを守り 無事故の現場に！！**

改訂日  
2023.08.07

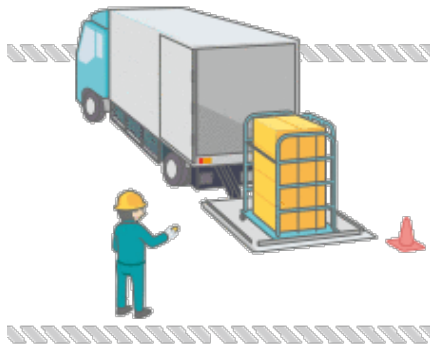


## ■ テールゲートリフター ベからず集<1> ■

### 【1】テールゲートリフターの特別教育について

令和6年2月1日施行の法改正にて、テールゲートリフター(以下、TGL)を使用して荷を積み卸す作業を伴う業務が**特別教育の対象**となっています。

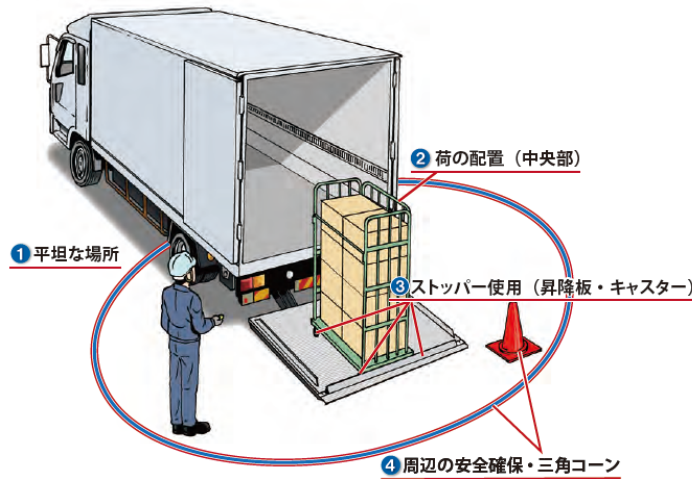
(学科4時間・実技2時間)



①特別教育の受講が必要となる業務は、TGLの稼働スイッチを操作することだけではなく、TGLに備え付けられたキャストーストッパー等の操作、昇降板の展開や格納の操作など、TGLを使用する全般業務が含まれます。

②TGLによる荷役作業を安全に行うため、荷をTGLの昇降板に乗せ、または卸す作業を行う人にも、できるだけ特別教育を受けさせましょう。

### 【2】テールゲートリフターを安全に使用する為に



①**平坦な場所**で荷役作業を行う。

②荷は**積載重量**を守り、昇降板の**中央部**に配置する。

③**昇降板**(キャストーストッパー、サイドガード)、**荷物**(キャストロック、輪留め)それぞれのストッパーを使用する。

④**周辺的安全を確保**する為に、カラーコーン等で区画する。

**現場の状況を把握し、これらを遵守する事！！**



## ■ テールゲートリフター ベからず集<2> ■

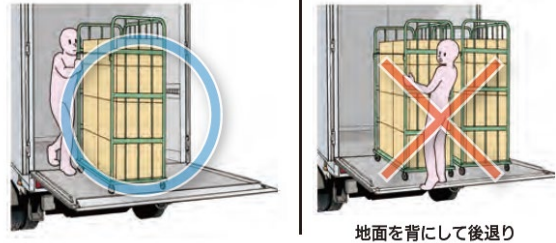
### 【3】 荷台への(からの)乗り降り



荷台へ乗る、もしくは荷台から降りる際、飛び乗る、飛び降りる事はせず、TGLをステップ替わりにし、乗降する事。

**転倒、落下事故の危険排除！**

### 【4】 卸す際は後退しない



地面を背にして後退り

荷台からゲートへ荷を移動させる際、後退では落下の危険ある為、前進で荷をゲートに載せる事。

**落下事故の危険を排除！**

### 【5】 昇降作業の安全を確保する

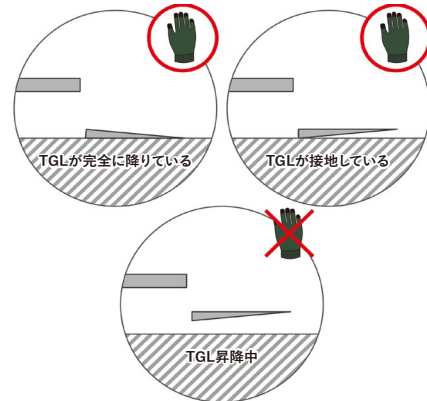


後部「キャストーストッパー」は必ず使用  
「サイドガード」は装備されていることを前提とする。

昇降作業では荷物が崩れる事故の危険性がある為、危険個所の事前チェック・安全装置の使用・等の安全対策を実施する。

**現場に合わせた安全対策を実施**

### 【6】 昇降時は荷を人が支えない

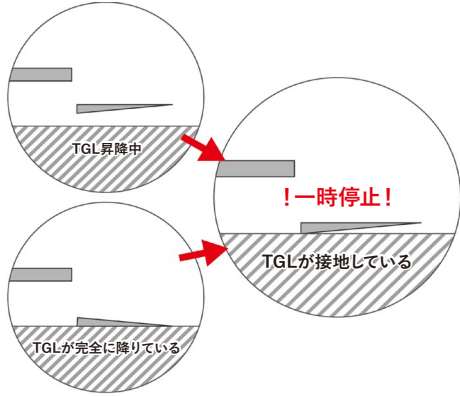


昇降板が昇降中は人が支えることはせず、昇降板が接地した状態でのみ人が荷を支える。昇降時、人が支えないことを前提とした作業方法をとること。

**人身事故が起きない状況を作る！**

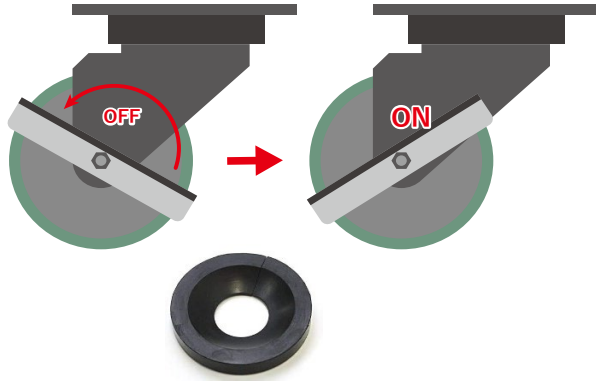
■ テールゲートリフター ベからず集<3> ■

【7】昇降板の一時停止



卸す際、積む際、両方とも昇降板が**接地**している状態で一時停止し、荷の状態を確認する事。

【8】キャスターロックは確実に



昇降する際は必ずキャスターロックを確実にかけること。キャスターロックが付いていない、環境的に難しい場合は輪留めを使用すること

**荷の逸走防止！**

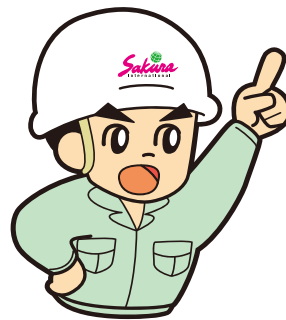
【9】保護具の着用



- 【保護具】
- ・ヘルメット
  - ・安全靴
  - ・手袋

作業に従事する全員がヘルメット・安全靴・手袋を着用し、安全に留意する。

【10】声を掛け合う



ゲート  
上げまーす

複数人が同じ作業を行う上で、状態状況を逐次声を掛け合い共有すること

**不安全状態を「0」に！！**



ルールを守り 無事故の現場に！！

改訂日  
2024.08.19

■ 台車作業 べからず集 ■

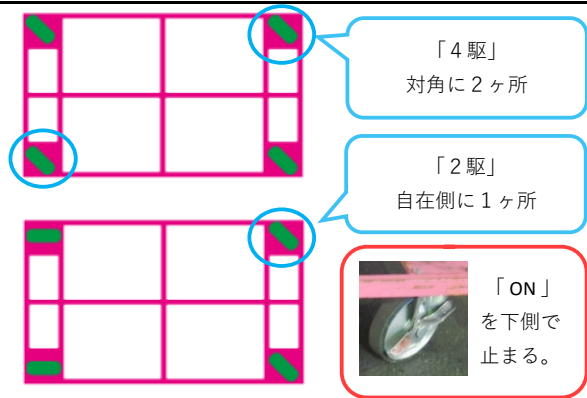
【1】 台車は2名以上で動かす



操作ミスによる衝突の危険性がある為、  
2名以上で台車は動かす。

**1名での台車移動は禁止**

【2】 ストッパーを正しく使用する



台車を停車・留置き・等をする場合に  
勝手に台車が動き衝突の危険性がある為、  
安全に正しくストッパーを使用する。

**正しくストッパーを使用**

【3】 耐荷重を超えない

鉄台車  
1,400kg

手押台車  
100-300kg

鉄台車(小)  
700kg

家具台車  
100-200kg  
※耐荷重 表記有

耐荷重を超えた荷物を載せた場合に  
台車破損等による事故の危険性がある為、  
各台車の耐荷重に注意する。

**耐荷重を厳守**

【4】 ゴムマット利用 (必要時)



「鉄台車」と  
「鉄パレット」では  
「鉄素材」同士なので  
非常に滑りやすい



「鉄パレット」裏面の梁  
部分と「鉄台車」鉄枠部  
分の接地面が広い箇所に  
ゴムマットを仕込む

会場・搬入路に段差がある場合に  
鉄パレットが滑る事故の危険性がある為、  
滑り止めでゴムマットを使用する。

**必要に応じてゴムマットを使用  
(ゴムマットは正しい位置で使用)**



ルールを守り 無事故の現場に！！

改訂日  
2024.08.19



脚立 べからず集

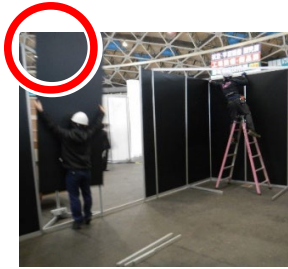
【1】脚立の安全装置を不使用	【2】脚立の天板に立つ	
 <p>安全装置を正しく使用 安全装置が ロックするまで開く</p>  <p>安全装置が ロックするま で広げない</p>  <p>安全装置 未使用</p>  <p>ケーブルを 安全装置の 代替で利用</p> <p><b>安全装置を使用せず脚立の利用を禁止</b></p>	 <p>脚立にまたがり作業 必要な高さに合わせた 脚立を利用</p>  <p>高さが届かない場合 脚立の天板に 乗って作業</p> <p><b>転落の危険性あり!! 危険な作業で禁止</b></p>	
【3】脚立でカニ歩き	【4】脚立で振向き作業	
 <p>安全を優先し 必要な場所に 脚立を移動して 作業</p>  <p>効率を重視し 脚立に乗ったまま 脚立ごと左右に移動 (カニ歩き)</p> <p><b>転倒の危険性あり!! 危険な作業で禁止</b></p>	 <p>安全を優先し 必要な場所・方向に 脚立を移動して作業</p>  <p>効率を重視し 脚立の上で 振向いての作業</p> <p><b>転倒の危険性あり!! 危険な作業で禁止</b></p>	
	<p>ルールを守り 無事故の現場に！！</p>	<p>改訂日 2023.08.07</p>

■ 壁面施工 べからず集 <1> ■

【1】壁面2スパン以上は補強をする	【2】補強の無い方向に向かったの作業	
 <p>安全を考慮し 壁面2スパン毎に 補強を実施</p>  <p>効率を優先し 補強を入れていない。</p> <p><b>補強の徹底</b></p> <p>「シャッター付近」「屋外など風の吹きみ」 「木工造作との干渉」等、外的要因を 受けやすい場所は特に注意</p>	 <p>安全を考慮し 壁面2スパン毎に 補強を実施</p>  <p>補強の出ている 方向から 補強の無い方向へ パネル設置作業</p> <p><b>壁面倒壊の危険性あり!!</b> <b>正しい方向からの作業</b></p>	
事故例	事故例	
 <p>壁面6mが 倒壊。 部材が破損</p>	 <p>壁面5mが 倒壊。 部材が破損</p>	
<p>原因</p> <p>搬入口前の造作だが、 外的要因に対して補強策が不十分の為、 風のおりを受けて倒壊した。</p> <p>対策</p> <p>【べからず集】 ・壁面2スパン以上は補強をする。 (シャッター付近 外的要因を受けやすい 場所は特に注意)</p>	<p>原因</p> <p>壁面の上部フレームをとめるために、 下側の補強フレームを外して 作業を進めてしまい倒壊した。</p> <p>対策</p> <p>【べからず集】 ・壁面2スパン以上は補強をする。 ・補強の無い方向に向かったの作業</p>	
	<p>ルールを守り 無事故の現場に！！</p>	<p>改訂日 2023.08.07</p>

■ 壁面施工 べからず集 <2> ■

【3】まとめて作業する



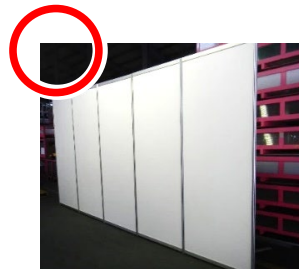
安全を考慮し  
壁面上部フレームを取り外したら、壁面等も並行で取り外し作業



効率を優先し  
壁面上部フレーム・ウェイトのみを先行で取り外し放置

**壁面倒壊の危険性あり!!**  
**正しい方向からの作業**

【4】システム壁面へ資材を立掛けない



安全を考慮し  
整理整頓を実施し資材をシステム壁面に仮置きして



効率を優先し  
資材を仮置きしての作業

**壁面倒壊の危険性あり!!**  
**資材の立掛け禁止**

事故例



壁面8mが  
後方に向かって倒壊。  
後方で撤去作業中の作業員に接触した

原因

壁面に半円ベースしか入れておらず、後方も補強もしていなかった為、後方ブースの壁面が無くなった際に倒壊した。

対策

【べからず集】  
・壁面2SP以上は補強をする。  
・補強の無い方向に向かった作業

事故例



壁面5mが倒壊。  
部材が破損

原因

システム壁面に部材(AZドア)を立掛けた為、倒壊した。

対策

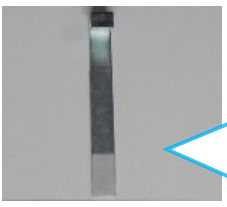
【べからず集】  
・システム壁面へ資材を立掛けない



ルールを守り 無事故の現場に！！

改訂日  
2023.08.07


■ パネル施工 べからず集<1> ■

【1】 パネル施工の注意点	【2】 補強方法
<p>■ <b>長辺が1500mmを超えるサイズ A0サイズ以上のパネルに関して 接着物のみの施工を原則禁止</b></p> <p>■ <b>落下の可能性のある取付方法は選んではならない</b> 例：高所でのA0以上の大判パネルをベルクロのみで施工等。</p> <p>■ <b>自己判断で施工をしない</b> 不明点や不安点はその場に責任者に確認を行うこと。</p> <p><b>不明点は責任者に要確認 !!</b></p>	<div data-bbox="810 387 1037 593">  <p><b>&lt;インシュロック&gt;</b> パネルに穴を開けて枠と固定する。ツインバ・CP・等の落下防止に使用する。</p> </div> <div data-bbox="810 616 1037 822">  <p><b>&lt;社名板フック&gt;</b> パネル裏側に取付し、枠に引掛けて固定する。適切な本数を使用する。フックと盤面の粘着部分もガムテープ補強する。</p> </div> <div data-bbox="810 855 1037 1061">  <p><b>&lt;ハンマーヘッド&gt;</b> パネル下側に固定し、落下防止に使用する。ドライバーで確実に固定する。</p> </div> <p><b>正しく補強を有効に活用</b></p>

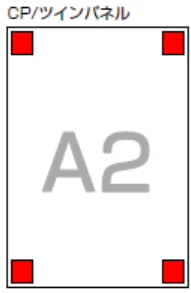
【3】 接着物の最低数

<下記状況でのベルクロのみの取付は禁止>

- ※ H2700以上の高さに設置する場合
- ※ 出展物、人通りがある場所での設置する場合

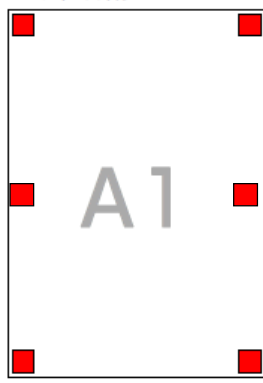
凡例：  接着物  
ベルクロ等

CP/ツインパネル



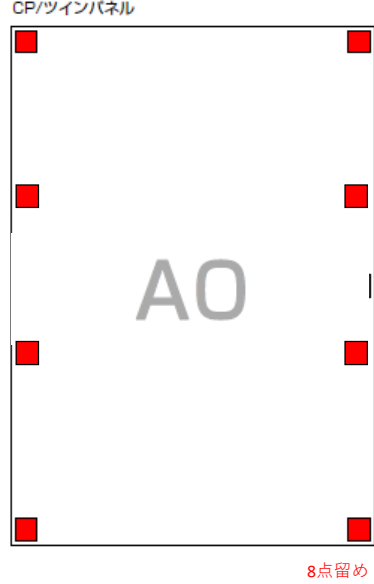
4点留め

CP/ツインパネル



6点留め

CP/ツインパネル



8点留め

**小さくても落下事故の危険性あり ルールを厳守 !!**

	<p><b>ルールを守り 無事故の現場に !!</b></p>	<p>改訂日 2024.02.26</p>
---	---------------------------------	---------------------------



■ パネル施工 べからず集<2> ■

【4】ワイヤー施工

ワイヤーフック



<ワイヤーフック>

中にワイヤーを通し、ネジを締めて固定する。



<ワイヤーを取付>

ワイヤーを通す向きで、「吊り元」でも「吊り側」でも利用可能です。



<吊り元 例>

吊り元はフレームの溝等に引っ掛けて取付する。

カシメ



<カシメ>

中にワイヤーを二重に通し、カシメをつぶしてワイヤーを固定する。



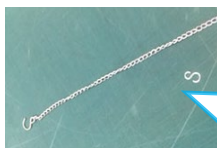
<吊り元 例>

ワイヤーの輪を金具、枠、等に通して取付する。

「吊り元の造作」や「吊り対象の重量」に合わせて、吊りの施工方法を選択してください。

**重量物はワイヤー施工**

【5】チェーン施工



<チェーンセット>

片側の端に大型S管が外れない様に取付けている。(吊り元)



<小型S管を取付>

ワイヤーを通す向きで、「吊り元」でも「吊り側」でも利用可能です。



<吊り元 例>

吊り元はフレームの溝等に引っ掛けて取付する。

**LEDパネルのチェーン施工は禁止 !!**

【補足資料】 静耐荷重

種類	耐荷重
ベルクロ	4 kg
社名板フック	8 kg
ハンマーヘッド	4 5 kg以上
チェーン	1 2 kg
ワイヤー	2 5 kg以上

<参考数値>

※ 弊社内部検証数値ですので、あくまで目安となります。  
 ※ 金具等の劣化により、上記耐荷重が低くなる可能性がありますので、使用する前に確認をお願いします。

**施工方法により耐荷重は変わる !!**



ルールを守り 無事故の現場に !!

改訂日

2024.02.26

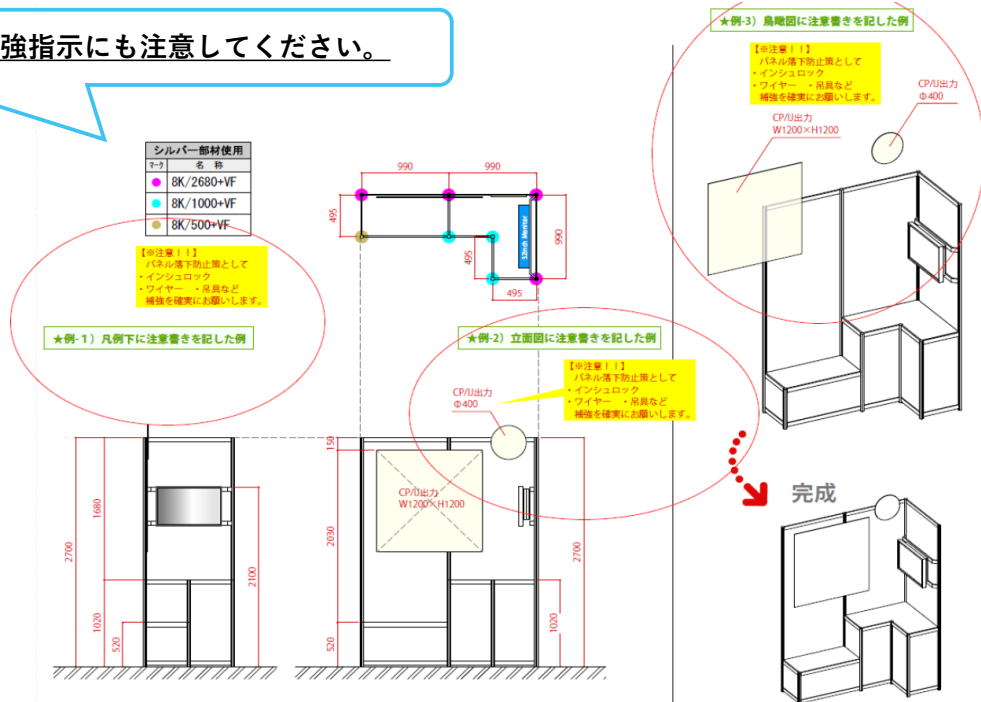


■ パネル施工 べからず集<3> ■

【補足資料】 落下の防止策 一覧表

落下防止 条件	＜ 強度 ＞				
	弱				強
	ベルクロ	ベルクロ +社名板フック +ハンマーヘッ ド	ベルクロ +社名板フック +インシュロッ ク	チェーン吊り	ワイヤー吊り (10kg以上)
H2700以上の高さ に設置する場合	×	×	○	○	○
出展物、人通りがある 場所での設置する場合	×	○	○	○	○
長辺が1500mmを超えるサイズ A0 以上のサイズ	×	○	○	○	○
LEDパネル を設置する場合	×	×	×	×	○
屋外に設置する場合	×	×	×	×	○
上記内容以外	○	○	○	○	○

図面の補強指示にも注意してください。



上記の表はあくまで基本的なものになります。  
随時適切な方法で取付作業お願い致します。

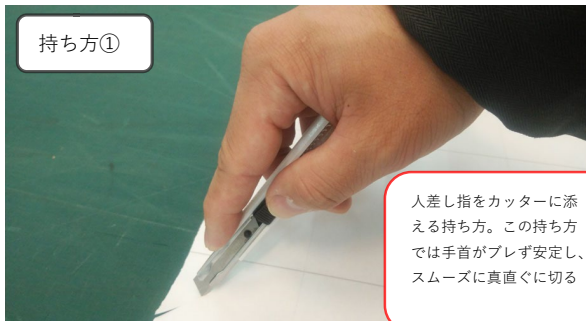


ルールを守り 無事故の現場に！！

改訂日  
2024.02.26

■ **カッティング作業 べからず集** ■

【1】正しい持ち方



人差し指をカッターに添える持ち方。この持ち方では手首がブレず安定し、スムーズに真直ぐに切る



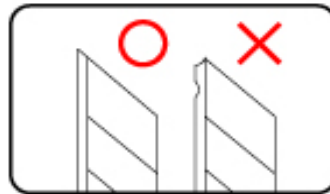
鉛筆を持つような持ち方。細かいものを切る際に、字を書くように自在に動かし安い。

**正しい持ち方を理解する**

【2】正しい使い方



刃を長く出して使うと危険。刃は1ピッチ以上出さずに使用する。



よく切れる刃を使うと無理な力が要らなく、安全性が高く、綺麗に仕上がる。切れなくなってきたと感じたら、折って新しい刃先を使用する。



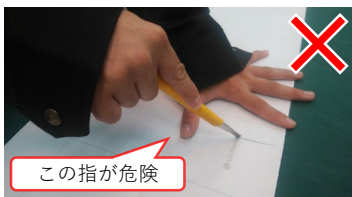
素手で刃を折らない。古くなった刃先はペンチや専用工具で折るのが安全。折った刃も危険な為、安易に捨てないこと。

**正しい使い方を理解する**

【3】正しい作業



安定した姿勢で作業をする。悪い姿勢や不安定な姿勢で作業すると、怪我をする原因になります。



この指が危険

用紙などを切断する際、手で押さえる場合は刃の進行方向に手を置かない。



定規は厚手を使用することを推奨します。

必要に応じて保護具を使用してください。

**切創事故の危険性あり！！危険作業で禁止**

【4】作業環境



作業環境は常に綺麗に整理整頓をする。



切りくず、道具、材料、等が散らかった場所で作業しない。

思わぬ怪我の原因になります。



切断作業が終わったら、刃を出したままにせず、必ず刃は元に戻す。

**怪我の危険性あり！！ 整理整頓をする**



**ルールを守り 無事故の現場に！！**

改訂日

2023.08.07

## サクラインターナショナル 安全指針19カ条 全体べからず集 (イラスト版)について

「サクラインターナショナル 安全指針19カ条」を元に  
いつも安全な作業へのご協力を頂き、ありがとうございます。

しかし、新人など不慣れな方が「安全指針19カ条」を一読にて  
全てを暗記する事は難しいと思われます。

とは言え最大限安全には配慮したく、  
敢えてイラストを付けた簡易版を作成しました。

A4裏表で作成していますので、  
現場での配布いただくなど、活用をお願い致します。

「現場責任者」は、下記の内容をサクラインターナショナルの社員、協力会社の責任者を通して、アルバイトを含む、**当社の案件に従事する作業員全てに伝達**し、徹底を促すものとする。

## 1. 危険予知MTGの実施 ・ 作業前に行うこと



今日、特に気をつけることは？

## 2. もしも事故が起きたら？



現場管理者へ連絡！！



## 3. ヘルメットは必須！！

社員も！！  
アルバイトも！！

管理者も！！  
作業員も！！  
事務員も！！



次の時はみんな  
が必要です。

- ① 施工時
- ② 出展社搬入時
- ③ 撤去時

「現場責任者」は、下記の内容をサクラインターナショナルの社員、協力会社の責任者を通して、アルバイトを含む、**当社の案件に従事する作業員全てに伝達**し、徹底を促すものとする。

#### 4. 台車を押す (2名作業、後ろから押して、横からフォロー)

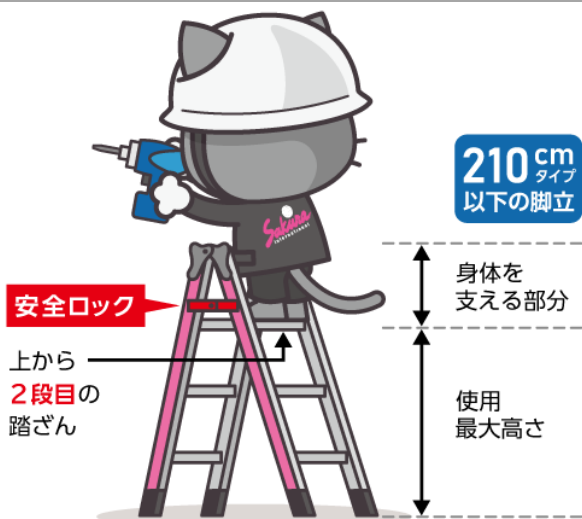
進行方向に立たないこと!!



#### 5. 脚立を使う

① 安全ロック  
を行う!!

② 2段目に  
立つ



**禁止行為!!**

- ① 天板にのること
- ② 振り向き作業
- ③ カニ歩き
- ④ 上下同時作業

#### 6. 出展者の備品に触らない!!

・ 陳列やパネル貼りの依頼があれば現場受付を案内しよう。



作業は全て  
有料です!!

